

文化財に関する取り組みについて

1. 令和5年度の主な取り組み実績

(1) 普及啓発事業

① くらわんか鋳物ツーリズム

旧田中家鋳物民俗資料館で鋳物や鋳造などの展示資料を見学し、鋳物作り道具などによる体験学習を受講した後、市内鋳物工場へ移動し、各社の取り組みや工場を見学するマイクロツーリズムを開催し、延べ50人の参加があった。

○第1回（令和5年8月11日）：コマツ大阪工場

○第2回（令和5年10月9日）：寿ダイカスト工業株式会社

○第3回（令和5年11月23日）：クボタ枚方製造所

② 市民歴史講座（開催日：令和5年8月24日、令和6年3月26日）

大阪自治体史連絡協議会第1回研修会と合同開催で市民歴史講座「江戸幕府の摂河治水システムと堤防保全策」を開催し、27人の参加があった。

また「国登録有形文化財（建造物）登録記念鍵屋別棟見学会」を開催し、25人の参加があった。

③ 枚方まつり2023への出展（開催日：令和5年8月26日）

百済寺跡の普及啓発の一環として枚方まつり2023に出展し、大阪工業大学の協力で作成した百済寺跡に関するパネル展示や創建当時の百済寺をイメージしたAR映像体験を実施し、延べ300人の参加があった。

④ 発掘調査報告会（開催日：令和5年9月16日）

文化財保護の啓発普及を目的として、令和4年度に実施した埋蔵文化財発掘調査事業の報告会を実施し、38人の参加があった。発掘調査報告会后、牧野車塚古墳見学及び展示ルームで開催中の「ひらかたの発掘・いまむかし」のミニ展示解説を実施した。

⑤ 百済寺跡築地塀復元工事見学会

築地塀の復元工事を実施し、土を盛って突き固める創建当時の工法を採用した在来工法と鉄骨を使用した現代工法で施工した。

令和5年9月22日・30日には、特別史跡百済寺跡の周知啓発を図る目的で、2つの工法を比較しながら工事内容の説明を受ける見学会を実施し、延べ117人の参加があった。

11月24日・25日には、瓦葺き工事の見学と創建当時の百済寺をイメージしたAR映像を体験するイベントを開催し、延べ77人の参加があった。

⑥ 第3回枚方宿まちかど歴史展示（開催日：令和5年12月1日～17日）

枚方宿まちづくり協議会・枚方文化観光協会と共催で、江戸時代に京街道の宿場町として賑わった「枚方宿」にある10店舗と枚方宿鍵屋資料館を会場に、各家に伝わる道具や市所蔵のくらわんか茶碗などを展示するほか、12月10日には、岡本町会館において、枚方宿周辺の出土遺物などの展示を行い、延べ605人の参加があった。

⑦ 発掘調査成果の展示

埋蔵文化財を身近に感じられる啓発事業として、輝きプラザきらら2階展示ルームにおいて発掘調査で出土した遺物や写真パネルなどを展示する、パネル展『ひらかたの発掘・いまむかし』（【前期】令和5年4月12日～9月4日、【後期】令和5年9月15日～令和6年2月26日）を開催した。

また、特別史跡百済寺跡復元築地堀が完成するのを記念し、令和6年3月12日～8月26日に『よみがえる百済寺―復元築地堀完成記念―』と題し、百済寺跡及び周辺遺跡の発掘調査成果や百済寺跡の復元整備について、写真や遺物を展示した。

（2）調査・保存

① 埋蔵文化財関係

文化財保護法届出・通知件数 657 件

本発掘調査 4 件 試掘確認調査 24 件 遺跡分布調査 2 件 工事立会件数 244 件

通常の試掘確認調査のほかに、区画整理等の大規模事業に伴う調査が数件あり。

・ 杉遺跡第1次調査：調査面積 233 m² 令和5年7月5日～9月30日

「杉三丁目地区」地区計画事業に伴う本発掘調査。平安時代中期～室町時代の宅地跡を確認した。

・ 中振北遺跡第1次調査：調査面積 171 m² 令和5年7月18日～8月31日

区画整理事業に先立つ本発掘調査。遺構面を2面確認し、第1面は平安時代中期から中世にかけて、第2面は古墳時代後期から平安時代前期にかけて形成され、それぞれの遺構面で宅地跡を検出した。奈良時代の井戸からは、舟材を井戸枠に転用していることが確認できた。

・ 禁野本町遺跡第239次調査：調査面積 217 m² 令和5年9月1日～10月10日

分譲住宅造成工事にともなう発掘調査。奈良時代の百済寺の中軸線に沿うメインストリートの路盤や側溝、宅地跡を確認した。

- ・ 禁野本町遺跡第 236 次調査：調査面積 450 m² 令和 5 年 11 月 13 日～令和 6 年 1 月 16 日 禁野小学校改築事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査。奈良時代頃の谷状の落ち込みや柱穴を確認し、百済王氏の都市整備が従来想定していたものより広く構想されていた可能性を示めす重要な成果となった。
- ・ 中振北遺跡第 4 次調査：調査面積 671 m² 令和 5 年 12 月 18 日～令和 6 年 6 月 11 日 光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業（2 街区）に伴う本発掘調査。平安時代中期から室町時代初め頃の建物や井戸、区画溝を検出した。
- ・ 東高野街道（招提東町地区）第 29 次調査：令和 6 年 3 月 4 日～22 日 東高野街道（平安時代、中世・近世の街道）と招提今池遺跡（奈良・平安時代、中世の散布地）隣接地における分布調査。調査によって、古代・中世前半の生活の痕跡が存在する可能性があることがわかった。

② 発掘調査現地説明会（開催日：令和 5 年 9 月 30 日）

宅地造成工事に伴い実施した禁野本町遺跡第 239 次調査において、発掘調査の現地説明会を実施し、延べ 80 人の参加があった。

③ 『楽しく学ぶ 枚方の歴史』の改訂

平成 18 年に刊行したビジュアル版郷土読本『楽しく学ぶ 枚方の歴史』を、特別史跡百済寺跡や禁野本町遺跡の調査成果などを加えて大幅に内容を改定し、全面カラー刷で新版を刊行した。

④ 特別史跡百済寺跡再整備事業

全国に先がけて史跡公園として整備した特別史跡百済寺跡（昭和 27 年指定）は、再整備に向けて実施した発掘調査（平成 17 年度から平成 25 年度）の成果をもとに再整備基本計画及び基本設計（平成 25 年度）、再整備実施設計（平成 26 年度）を策定した。

平成 27 年度から再整備工事に着手し、令和 5 年度は、築地堀の復元工事を行い完成した。 ※詳細は、案件（4）において説明。

⑤ 民俗文化財調査 ※別紙② 令和 5 年度枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館年報参照

これまで未調査であった神社の祭礼行事について、民俗文化財調査の一環として、令和 4 年度に実施した神社の祭礼行事のアンケート結果に基づき、神輿、ダンジリ、布団太鼓

等 17 件の確認調査を行った。

その他、津田の宮座・祭礼等、聞き取り調査を実施した。

⑥ 市登録文化財について

令和 6 年 3 月 1 日付で、市が所蔵する田能村直入の書画 4 作品（「親鸞上人枕石図」、
「十六羅漢像」、「佛説阿弥陀経」、「仰山臨水楼囑目図」）を「田能村直入関係資料（奥田家
旧蔵）」として市の登録有形文化財に登録した。幕末から明治期の京街道沿いの裕福な町人
の生活文化をうかがわせる貴重な歴史資料であることから登録に至った。

2. 令和 6 年度の主な取り組み実績および予定

（1） 普及啓発事業

① 市登録文化財についての展示の実施（開催期間：令和 6 年 4 月 3 日～5 月 6 日）

「田能村直入関係資料（奥田家旧蔵）」を市の登録有形文化財に登録したことを記念し、
総合文化芸術センターの市所蔵作品展示スペースにおいて同資料とその他の 4 つの市登録
文化財を紹介する展示を実施した。

② 特別史跡百済寺跡築地堀完成記念式典（開催日：令和 6 年 4 月 8 日）

平成 27 年から史跡内の再整備事業を進めており、築地堀が完成をしたことを記念した式
典を開催し、63 人の参加があった。

③ 市民歴史講座及び文化財報告会の実施（開催日：令和 6 年 9 月 7 日・

令和 7 年 2 月 22 日）

市職員による文化財報告会と、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』の刊行記念第 1 弾として市
民歴史講座「茨田堤と枚方の古墳時代」を実施し、144 人が参加した。

また、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』の刊行記念第 2 弾として、「行基と古代の枚方」を実
施する予定。

④ 枚方まつり 2024 への出展（開催日：令和 6 年 10 月 12 日）

百済寺跡の普及啓発の一環として枚方まつり 2024 に出展し、百済寺跡に関するパネル展
示や創建当時の百済寺をイメージした AR 映像体験を実施し、延べ 300 人の参加があった。

⑤ 広域リレー講座「ぶらり北河内 2024」歩いてみよう！交野ヶ原

(開催日：令和6年11月19日)

北河内各市域の歴史や文化財を身近に学び、あらためて地域の良さを発見するために、北河内地域文化財活用広域連携会議（歴史ネットきたかわち）の参画市が広域リレー講座を開催した。令和6年度は四條畷市と枚方市が担当となり、本市においては京阪宮之阪駅から御殿山駅までの間で、百済寺跡・禁野本町遺跡・渚院等を巡り、39人の参加があった。

⑥ 枚方宿まちかど歴史展示（開催期間：令和6年12月1日～12月15日）

昨年度に引き続き、枚方宿まちづくり協議会・枚方文化観光協会と合同で、江戸時代に京街道の宿場町として賑わった「枚方宿」に所在する10店舗を会場として、各家に古くから伝わる道具や市所蔵のくらわんか茶碗等を展示した。

また、12月8日には岡本町会館において、枚方宿ゆかりの出土遺物や中振北遺跡の発掘調査成果等の展示を行い、およそ400人の参加があった。

⑦ くらわんか鋳物ツーリズム（開催日：令和7年2月11日、24日、3月20日）

昨年度に引き続き、旧田中家鋳物民俗資料館と市内鋳物工場（第1回（2月11日）：コマツ大阪工場、第2回（2月24日）：寿ダイカスト工業株式会社、第3回（3月20日）：クボタ枚方製造所）を見学するマイクロツーリズムを開催予定。

⑧ 発掘調査成果の展示

前年度（令和6年3月12日）から引き続き、令和6年8月26日まで『よみがえる百済寺―復原築地堀完成記念―』を開催した。期間中は時期を限定して、金銅制飾金具や押出仏、銅貨の展示も行った。また、令和6年10月11日から令和7年3月3日まで『海を渡ってきた文化―日本列島に根づいたモノ・技術―』と題し、市内の遺跡から出土した遺物を紹介している。令和7年3月18日からは大阪府立近つ飛鳥博物館 令和7年度春季特別展（仮）「百済王氏―絶統を紹ぎ興す―」〔会期：令和7年4月5日～5月25日〕とのコラボ展示として、『百済王氏は朕の外戚なり』を開催予定。百済王氏の氏寺跡である百済寺跡や同一族が居住した街と考えられる禁野本町遺跡など、発掘調査の成果から見える枚方市内の百済王氏の痕跡を紹介する。

(2) 調査・保存

① 埋蔵文化財関係

文化財保護法届出・通知件数 482 件 (12 月 31 日現在)

本発掘調査 1 件 試掘確認調査 17 件 遺跡分布調査 1 件

工事立会 193 件 (12 月 31 日現在)

- ・中振北遺跡第 4 次調査：前年度から引き続き調査。今年度の調査では、14 世紀の水道管（暗渠）に用いられた竹筒が出土した。
- ・東高野街道（招提東町地区）範囲外確認調査：約 600 m² 令和 6 年 11 月 18 日～継続中
昨年度実施した分布調査の結果により、招提東町地区の地区計画における埋蔵文化財範囲内容確認調査を実施。現在、中世の耕作面などを確認している。

② 民俗文化財調査

春日神社（津田）の祭礼について、重点的に調査を実施。特に秋祭りに出される提灯について、7 月末から 9 月上旬にかけて行われた虫干しの際に、詳細に調査を実施した。関連して津田の宮座のうち、侍座が所蔵する古文書調査を実施した。

昨年度未実施だった旧枚方宿の布団太鼓の確認調査及び祭礼調査を実施した。

③ 特別史跡百済寺跡再整備事業

令和 6 年度の特別史跡百済寺跡再整備事業は、令和 4 年度に設置した説明板に引き続き、公園内に残りの説明板を設置した。このほか、舗装、芝・マツなどの植栽といった残りの部分の工事を行い、全ての工事が完了した。

※詳細は、案件（4）において説明。

④ 春日神社（津田）の秋祭りの枚方市登録文化財（無形民俗文化財）の候補について

→詳細は、案件（5）において、後述。

(3) その他

令和 6 年度末で市立枚方宿鍵屋資料館の現指定管理期間が満了することから、指定管理者選定委員会による審議、令和 6 年 12 月定例月議会における議決を経て、特定非営利活動法人枚方文化観光協会を指定管理者として指定した。